

1人1人が自立へ向かって、光ろう！

一灯照陽

579人がみんなで光れば、

灯中はさらに輝く！

福井市灯明寺中学校 指導部通信

発行 福井市灯明寺中学校

10月 18日

生徒指導部

令和5年度 第10号

生徒指導部より

10月の生活目標

ふさわしい言葉を選ぼう

～TPOと思いやりのある言葉～

☆二学期が始まりました。生徒会執行部、常任委員会・係活動なども変わりました。新たな気持ちで学校生活を送りましょう。新しいリーダーやそれぞれの役割を持った仲間が、気持ちよく活動ができるように、引き継ぎをしっかりと行い、前向きな言葉で支えたり、協力したりしていけるといいですね。

1・2年生は26日（木）に校外学習が行われます。それぞれの学年で、たくさんの実行委員が校外学習のルールや学ぶポイントなどを主体的に決めています。『生徒が主役』の楽しめる学校行事だからこそ、その準備も楽しくありたいですよね。そのためには、当日だけでなく、いろんな物事を決める際にも「自分の気持ちが一番！」を押し通すのではなくて、仲間の気持ちを考えながら、集団の一員として思いやりのある言葉や行動を選んでいきましょう。このような学校だからこそ得られる学びや体験を大切にしていってほしいと思います。



【薬物乱用防止教室を行いました】

10月2日（月）に薬物乱用防止教室がありました。学校薬剤師の先生や福井警察署のスクールソポーターから薬物の危険性や誘われた時の断り方、身近な事例などを教えていただきました。生徒の感想を紹介します。

あらためて薬物やオーバードーズの怖さが学べました。また、100gの薬物が3000万円になることや、薬物をネットですぐに買ってしまうことに驚かされました。（1年）

薬物に一度手を出してしまうと後戻りをすることができないと知ったので強い意志を持ちたいです。将来薬剤師になりたいので、個人的に薬物について調べていこうと思います。（2年）

大人で薬物を所持していたら捕まるのは知っていたけど、14才で捕まること、薬物を使ったら脳がボロボロになるなんて初めて知りました。（2年）

今まで薬物とは縁遠いものだから関係ないと思っていたが、想像以上に身近にあり、市販薬も使い方によっては害をなす薬物になり得ることを理解することが大切だと思いました。（3年）

薬物乱用の危険性は保健体育で学んできたけど、SNSで手軽に手に入ることは知りませんでした。今日はよい断り方も教えてもらい、わかりやすいと思いました。（3年）



【衣替えのお知らせ】

- 11月1日（水）完全衣替えとします。
名札やボタンの確認をお願いします。



【2学期の完全下校時刻：午後5時30分】

今日から完全下校時刻は、午後5時30分となります。

帰り道は暗く、視界は悪くなっています。そこで…

- ・自転車で下校する場合は、必ずライトをつけること。
- ・スピードを出しすぎない。「もし車や人が出てきたら…」を想像し、すぐ止まることのできるスピードにすること。

【灯中っていいね！パート3】



灯中49年ぶり頂点

☆10/5に行われた県中駅伝で、男子は優勝（12月全国大会へ）、女子は4位という好成績を収めました！「男女ともすごく仲が良く、何度も走りたくなる楽しいチームです」（3年寺田くん）まさにOne Teamで頑張ってきました。灯中っていいね！頑張れ灯中！

☆1学期の終業式の後に、生徒会執行部による「校則改定についてのお知らせがありました。夏休み前から生徒・先生・保護者にアンケートを行い、何度も話し合いを経て、新しい校則をつくりました。また、執行部はこう言います。「学校生活にふさわしい髪型や登校靴を自分で考え、判断していきましょう」。これは大切な力です。さすが『生徒が主役』の灯中。灯中っていいね！

【先生のらくがき帳】

先生が終業式の日に出したクイズ、答えは出ましたか？

家から学校へ…行きは時速4km、帰りは時速6km。

往復の平均速度は？ 答え：時速4.8km

「どうして4.8?なぜなぜなぜ?」と思うなら、ぜひ2年生に聞きましょう。学校には仲間がいるから助けてくれます。

☆

それでは先生からクイズの第2弾！かつて先生が道徳の授業で実際にやってみた実験結果を、みんなで予想しよう！理由を仲間と語り合おう！全部で4問あるよ。

【問題1】ストローにマッチ棒を入れて『吹き矢』にします。この吹き矢でマッチ棒を吹いた時、人によって飛ぶ距離はどのくらい違うと思いますか。絵のように、ストローは水平にして吹きます。男子と女子によってどのくらい違いがあるでしょう。それぞれの人に3回ずつ吹いてもらったら…

＜予想＞ ア：2～3倍は違うだろう

イ：2倍も違うことはないだろう

＜討論＞ どうしてそう思いますか？

仲間と考えを出しあって、

討論してみましょう。



お家の人に、この問題を出して理由を聞いてみるとおもしろいかも。
問題2と3は、けこう大人気もちらがうかも？

【問題1】ストローにマッチ棒を入れて『吹き矢』にします。この吹き矢でマッチ棒を吹いた時、人によって飛ぶ距離はどのくらい違うと思いますか。ストローは水平にして吹きます。男子と女子によってどのくらい違いがでるでしょう。それぞれの人に3回ずつ吹いてもらったら…

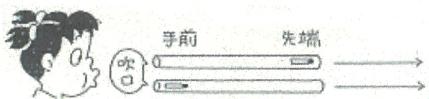


＜予想＞ ア：2～3倍は違うだろう

イ：2倍も違うことはないだろう

【問題2】今度は、マッチ棒をストローの先端ではなく、手前の方に入れて吹くことにします。

手前の方に入れた時の飛び方は、問題1の時の飛び方と比べて、どう変わると思いますか。

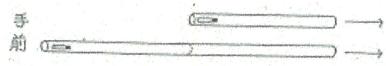


＜予想＞ ア：今度の方がもっと飛ぶ

イ：今度の方が飛ばない

ウ：ほとんど変わらない

【問題3】今度は、2本分の長さのストローにマッチを入れて吹くことにします。2本のストローをまっすぐに伸ばして、継ぎ目にテープを巻くと簡単に〈長さが2倍のストロー〉をつくることができます。これでマッチ棒を手前に入れ、吹いたらどうなるでしょう。



＜予想＞ ア：2本の方がもっと飛ぶ

イ：2本の方が飛ばない

ウ：ほとんど変わらない

【問題4】それでは、8本分の長さのストローにマッチを入れて吹いたらどうなるでしょう。

＜予想＞ ア：8本の方がもっと飛ぶ

イ：8本の方が飛ばない

ウ：ほとんど変わらない

授業では、実際教室の中で「やつめいんへ」って言って、ストロー吹き矢をしました。予想に、理由を言いながら討論してみたら、すごく盛り上がりまし。



☆【問題1・2・3・4の答え⇒イ・ア・ア・ア】でした

先生は「吹き矢の力学」という題名で授業を行いました。実験の終わりには、こんな話をします。

…これらの実験から、ストローが長くなれば長くなるだけ、はるかに遠くまで飛ぶことがわかります。ストローが長くなるとそれだけ〔まさつ力〕が働いて、それだけ遅くなるようにも思えますが、そうではないのです。実質的な吹き矢は、みんな長いものを使っています。

☆【『継続は力なり』のウソとマコト】

『継続は力なり』ということわざがあります。これは厳密にいってウソです。継続は〈時間〉であって、力ではないからです。いくら継続したって、何も力を加えなければダメなのです。〈力の効果〉は〈力の大きさ〉だけでなく、〈時間の長さ〉だけでもなく、〈力×時間〉で決まるのです。

ある力があって、それを継続させれば、その効果は継続した時間だけ大きくなるのです。だから〈力の効果〉を大きくするには、「力を大きくするか、時間を長くするか」ということが問題になります。



しかし、たいていの場合「力を大きくするには限界がある」ということはわかります。だから「力を大きくするよりも、時間をかけた方がいい」ということになります。

これは一つの生き方にもつながります。吹き矢を一瞬のものすごい肺活量で吹くことができる人がいたとしても、その人よりも何倍も長い吹き矢で吹けば、必ず勝つことができるのです。〈吹き矢の力学〉の結論は、『継続は力なり』ということわざをこえることができます。

「力学的な効果は、〈力の大きさ〉で決まるものではなくて、〈力×時間〉で決まる」のです。

〈力〉そのものよりも〈力×時間〉の方が大切だ、ということは、生きていくうえで、あらゆる面で当てはまる法則です。

「成績を向上させたい」「部活で勝ちたい」「誰かに心を伝えたい…」あらゆる面で言えることです。一時的なく大きな力には限界がありますが、小さな力を継続させていくことなら可能ではないでしょうか。

この〈力×時間〉という法則は覚えておくと、いつかきっと役に立つと思います。～おしまい～

☆

自分の思いを仲間に伝えると、その思いに対して共感してもらったり、逆に課題を解決する手がかりを提案してもらったりします。授業だけじゃなく、部活や行事やクラスでの決め事…たくさんある中で、「答え」をつくっていくことが、学校だからこそ得られる大切な学びだと思うのですが、どうでしょうか。だから『学校へ行こう！』